



株式会社フォーバルの連結子会社 株式会社アップルツリー 中小企業向けCO₂自動算定・可視化ツール『CNノート』をリリース ～中小企業の脱炭素経営を実現し、他社との差別化と企業価値向上をサポート～

『「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創るFORVAL』を理念に掲げ、ESG経営を可視化伴走型で支援する次世代経営コンサルタント集団の株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島 将典、以下「フォーバル」）の連結子会社である株式会社アップルツリー（本社：東京都大田区、代表取締役社長：南谷 幸男、以下「アップルツリー」）は、6月1日（土）に中小企業向けCO₂自動算定・可視化ツール『CN note』をリリースしました。このサービスを通じて、中小企業における脱炭素経営を加速させてまいります。



『CN note』リリースの背景と目的

投資家や消費者の間で、企業が環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の観点から社会的責任への意識が高まっている中、ESG投資市場の拡大に伴い、上場企業を中心とした大手企業では、サプライチェーン全体のCO₂排出量の算定と情報開示がほぼ義務化されています。そのため、取引先に対するCO₂排出量の情報開示要請（Scope3）が年々増加しています。

アップルツリーは、中小企業における脱炭素経営の第一歩は、大手企業のScope3に該当してくる自社のCO₂排出量（Scope1、Scope2）の算定と情報開示から始めることが重要とし、CO₂自動算定・可視化ツール『CN note』の開発をしました。

『CN note』の主な機能



環境スコアリング診断

自社の脱炭素経営への取組み状況をスコアとして「見える化」



CO₂排出量の可視化

自社のCO₂排出量であるScope1とScope2の算定



CO₂実質削減量の可視化

環境への取組みの成果をCO₂削減への貢献量として可視化



コンソーシアム情報

多角的な情報との比較で自社の立ち位置と大きな脱炭素への動きを把握



レポート自動作成

他社にはないアピール要素を加えたレポートを自動作成

CN note紹介動画：<https://youtu.be/ofBXTnN-490>



『CN note』概要

本サービスの概要は以下の通りです。

【ご利用料金】

・月額サービス利用料：8,000円／月（税別）

※初期設定費用：0円

・契約期間：最低利用期間などの条件はありません。

※ご解約希望の場合は解約希望月の1か月前までにお申し出ください。

※違約金などの費用は一切発生致しません。

・支払条件：月末締め翌月末払い（クレジットカード払いor 銀行口座引落）

※お手続きが済むまでは銀行振込となります。

※アカウント発行月の翌月から課金がスタートとなります。



株式会社アップルツリーについて

アップルツリーは、太陽光発電システムやLED照明等、産業事業者向けの電力など、ハード・ソフトの両面から再生可能エネルギーのインフラ普及を目指すと共に、様々な環境対策に取り組む事業者様の支援をし、利益に貢献することで、日本ひいては世界の環境課題の解決に貢献してまいります。詳しくはホームページ (<https://appletree-ws.co.jp/>) をご参照ください。

■会社概要

社名：株式会社アップルツリー

代表：代表取締役社長 南谷 幸男

設立：2010年（平成22年）5月27日

所在地：東京都大田区平和島4-1-23 JSプログレビル5F

URL：<https://appletree-ws.co.jp/>

株式会社フォーバルについて

ESG経営を可視化伴走型で支援する次世代経営コンサルタント集団であるフォーバル（資本金：41億50百万円、【証券コード：8275】）は、中小・小規模企業を対象に「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野に特化したコンサルティングサービスをコアビジネスとしています。

政府が掲げる4つの原動力「グリーン」「デジタル」「活力ある地方創り」「少子化対策」に則り、自治体・民間企業・教育機関と連携しながら日本全国でDX・GX人材を育て、その人材が地元経済を活性化させるという好循環によって持続的な地方創生の実現を目指す「F-Japan」構想を推進するとともに、近年ますます注目される人的資本をはじめとしたESG経営の可視化伴走支援に取り組んでいます。

■会社概要

社名：株式会社フォーバル

代表：代表取締役社長 中島 将典

設立：1980年（昭和55年）9月18日

所在地：東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号青山オーバルビル14階

URL：<https://www.forval.co.jp>